

文化芸術・多文化共生施策の現状について

文化芸術および多文化共生の施策・事業の現状について、下記のとおり報告する。

1 はじめに

区は「いたばし文化芸術・多文化共生ビジョン 2025」に基づき、区民の豊かな心を育み、多様性を尊重する共生社会の実現を目指して文化芸術・多文化共生施策を推進している。

新型コロナウイルス感染症がもたらした前例のない危機的な状況を経て、文化芸術が人々の心に平穏と希望をもたらすものとして改めて認識されるとともに、文化芸術活動を支援し、将来の世代に引き継いでいくことの必要性が一層明確になった。

さらに、外国人住民の急増により、外国人が地域社会の一員として生活できる環境を整備するとともに、多文化共生に対する社会全体の理解と意識を深めていくことは、現在直面している重要な課題であると同時に、今後取り組むべき政策分野である。

これまでの取組を踏まえ、絶えず変化する状況に柔軟かつ迅速に対応しながら、今後も文化芸術・多文化共生事業の発展の可能性を模索していく。

2 文化芸術施策・事業について

主な事業名	概要	令和 6 年度実績
女子美術大学プロジェクト&コラボレーション授業	令和 5 年度から女子美術大学(杉並区)アート・デザイン表現学科において絵本のまちの取組をテーマとして事業を実施。令和 6 年度は、まちのしおり特別編（イラストマップ）を制作。	【実施期間】 5 月 14 日～6 月 21 日 【参加学生数】 17 人
こどもわくわくフェスタ（絵本のまち PR ブース）	本来廃材となってしまう絵本の表紙を袋として再生させるエコぶくろづくりワークショップを実施。	【実施日】 5 月 25 日、26 日 【場所】 平和公園 【参加者数】 約 150 人

主な事業名	概要	令和6年度実績
リンテックの親子で楽しむコンサート	株式会社リンテックとの共催により、ミニオーケストラ演奏や「星の王子さま」の朗読など、子どもから大人まで楽しむことができるファミリーコンサートを実施。	【実施日】 9月29日 【場所】 文化会館大ホール 【参加者数】 約920人
絵本のまち板橋バナーフラッグ	「絵本のまち」認知度向上のため、区民まつり（絵本のまちひろば）開催時期に開催会場周辺で絵本テイストのデザインのバナーフラッグを掲出。	【掲出期間】 10月16日～11月14日 【場所】 遊座大山商店街
板橋区民まつり「絵本のまちひろば」	絵本や絵本関連グッズの販売、ワークショップ、ステージプログラムなどが実施される、板橋区最大の絵本イベントを開催。	【開催日】 10月19日、20日 【場所】 板橋第一中学校体育館・校舎 【来場者数】 約19,000人
絵本のまち板橋を政策形成に活かした職員研修	主任5年目職員を対象とした「重点戦略推進研修」において、ブランド戦略（絵本のまち）をテーマとした研修を実施。	【実施日】 11月7日、21日 【参加者数】 28人
SDGs マルシェくるくるパーク（プチ絵本のまちひろば・顔はめ福笑い）	企画検討から顔はめパネルの作成まで、クリエイターや区内企業など、絵本のまち板橋に関わる多業種の皆さんの協力を得て実施。	【実施日】 1月11日、12日 【場所】 東板橋公園 【参加者数】 約100組
絵本のまち有識者懇談会	さらなる「絵本のまち」ブランディング強化のため、学識経験者、出版・印刷製本業関係者等の外部有識者の知見により、絵本のまちのあり方等を検討する懇談会を開催。	【開催日】 12月18日、1月30日、3月5日 【出席者数】 委員7人、オブザーバー1人
小さな絵本館×こどもえほんだなプロジェクト	株式会社絵本ナビと共同で、絵本を設置したい区内の子どもの居場所と、それを支援してくださる企業・団体・個人を繋ぎ、板橋区に縁のある絵本と絵本棚を設置。	【寄贈】 4者（13台）

主な事業名	概要	令和6年度実績
区民文化祭	区民の総合文化祭として、板橋区と公益財団法人板橋区文化・国際交流財団と板橋区文化団体連合会の共催で文化芸術事業を実施。	【団体・事業数】 22 団体、25 事業 【出演・出品者数】 延べ 6,652 人 【観覧者数】 11,867 人
顕彰事業	文化及び国際交流活動等で優秀な業績、成績及び大きな貢献実績をあげ、地域文化の向上及び国際交流活動に寄与、貢献し、板橋区の名を高めた区民を顕彰する。	【表彰者・団体数】 95 人、7 団体
各種展覧会	美術館にて狩野派作品を中心とした古美術、池袋モンパルナス関連作品を中心とした近現代美術、ボローニャ国際絵本原画展を中心とした絵本関連作品を三本柱とし、学芸員の専門性を活かした特色のある展覧会を開催している。	【開催日数】 240 日 【観覧者数】 64,495 人
美術講演会	美術館での各種展覧会開催時に、関連する内容による講演会、ギャラリートーク、ワークショップ等を実施し、展覧会を充実させるとともに、芸術的意識の高揚を図っている。	【実施回数・参加者数】 講演会 14 回、847 人 対談 3 回、143 人 トークイベント 3 回、141 人 ギャラリートーク・スライドトーク 5 回、164 人 ワークショップ 3 回、45 人
子ども対象事業	美術館にて3歳～小学生とその保護者を対象とした造形ワークショップ「こどもアトリエ」や、学校・園を対象とした「鑑賞教室」を実施し、情操教育の向上と芸術的意識の高揚を図っている。	【実施回数・参加者数】 こどもアトリエ 12 回、127 組 349 人 【実施校数・参加者数】 鑑賞教室 小・中学校 10 校、740 人 幼稚園・保育園 4 園、135 人
各種技法教室	美術館にて各年代に応じた技法教室のほか、イラストレーター等を対象とした専門的な技法講座「夏のアトリエ」を実施し、芸術の担い手の育成を図っている。	【実施回数・参加者数】 技法教室 3 回、39 人 【実施期間・参加者数】 夏のアトリエ 5 日間、19 人

主な事業名	概要	令和6年度実績
区民参加型事業 ※板橋区文化・国際交流 財団実施事業	区内在住、在学の小中高生から一般の方まで、幅広い方々を対象として、専門的知識を有した指導者の下、文化芸術に関する多様な講座、教室等を開催し、ふれあい、楽しみ、学ぶための場と機会を提供することにより、区民の健全育成を図るとともに、文化芸術の発展向上に貢献することを目的に実施。	【事業数】 21 事業
アウトリーチ事業 ※板橋区文化・国際交流 財団実施事業	音楽・芸術・芸能等の活動者や区内の文化芸術団体などと協働して学校や区立施設等に出向いて文化芸術への興味や関心を高める出前事業を実施し、普段文化会館へ足を運ばない区民へ文化会館の存在や財団の活動を周知する。	【事業数】 2 事業
文化の提供事業（主催公演事業、共催公演事業） ※板橋区文化・国際交流 財団実施事業	文化会館・グリーンホールを拠点に、日本の古典芸能、子供向けのミュージカル、著名なエンターテインメントや歌手を招いてのコンサート、「落語のまち板橋」を象徴する寄席等、様々なジャンルの公演等を開催し、区内外の観客が文化芸術に触れ享受する機会を提供することにより、豊かな人間性の涵養を図るとともに、文化芸術の振興・発展を目的に実施。	【事業数】 主催公演事業 6 事業 共催公演事業 19 事業
文化芸術・スポーツ活動支援事業 ※板橋区文化・国際交流 財団実施事業	個人又は団体が、広く区民を対象とした公演等を開催する場合か、国又は全国組織の主催・共催・後援する大会に出場した時の経費の一部を助成する。	【事業数】 2 事業

主な事業名	概要	令和6年度実績
いたばし花火大会	荒川河川敷において、都内でも有数の歴史ある花火大会を実施することにより、区民生活に憩いと潤いを与え、自分たちの住むまちへの愛着心を深めると同時に、地域の活性化を図り、板橋区の魅力を内外にアピールする。打ち上げ合計は戸田市と合わせて約15,000発。尺五寸玉や芸術玉などを打ち上げ。 主催：板橋区・板橋区観光協会 ※ 戸田橋花火大会（戸田市）と同時開催	【開催日】 8月3日 【場所】 荒川河川敷 【来場者】 約57万人
板橋農業まつり	都市農業に対する区民の理解の深化と農業者の生産意欲の高揚を図るため、地場産野菜の販売、農業祭共進会、収穫体験等を実施する。	【開催日】 11月8日、9日 【場所】 赤塚体育館通り周辺 【来場者数】 延べ85,000人
文化財登録・指定	区内に伝わる歴史資料の調査・研究を行い、内容、来歴、価値などを明らかにして区の文化財として登録・指定し、保護や活用の対象とする。	【登録・指定文化財数】 登録文化財 194件 うち指定文化財 34件
文化財公開 （旧粕谷家住宅、文化財ふれあいウィーク	都内最古級の古民家である旧粕谷家住宅（都指定文化財）を維持管理し、一般公開する。また、集中的に文化財に触れる機会を提供するため、地域や文化財を選定し、「文化財ふれあいウィーク」として期間を定めて重点公開する。	【来場者数】 旧粕谷家住宅 延べ3,174人 【期間・参加者数】 文化財ふれあいウィーク 10月12日～11月10日 1,506人
無形民俗文化財・無形文化財公開	区の特徴である数多くの郷土芸能などを広く紹介するため、無形民俗文化財を実演する「郷土芸能大会」及び「いたばしの郷土芸能」、語り物芸能で都指定無形民俗文化財である「説経浄瑠璃」の鑑賞会を開催する。	【開催日・参加者数】 郷土芸能大会 11月10日 延べ450人 いたばしの郷土芸能 3月1日 183人 説経浄瑠璃鑑賞会 1月18日 297人

主な事業名	概要	令和6年度実績
文化財関係講座の開催	区の登録・指定文化財を中心に、歴史的背景・価値、登録指定に至る経緯、調査結果などについて解説・見学・体験を通して学ぶ「文化財講座」、区内の史跡や文化財を解説つきで巡る「史跡散歩」を開催する。	【開催数・参加者数】 文化財講座 5講座 延べ 225 人 史跡散歩 4回 延べ 123 人
学校における文化財関係授業の実施	学校の依頼により、地元の無形民俗文化財保持団体を講師とし、実演鑑賞や体験学習を行う「ふるさと文化伝承事業」、学芸員が講師となり、区内で出土した土器や石器の実物を用いた「埋蔵文化財教材使用授業」を実施する。	【実施校数】 ふるさと文化伝承事業 5校 埋蔵文化財教材使用授業 3校
郷土芸能伝承館運営	区内で伝承されてきた数多くの無形民俗文化財を後世に伝え、地域文化の発展を目指すことを目的とした施設「郷土芸能伝承館」を運営し、練習や行事での利用に供する。広く伝統文化団体にも解放している。	【利用件数・利用人数】 759 件 延べ 11,349 人
郷土資料館 企画・特別展示の 開催	区民をはじめとする多くの方々を対象に、来館者が自身と地域との関わりを理解するとともに地域を身近に感じ、また、文化伝統に接する機会として、郷土に関する歴史・民俗等の資料の展示会を開催する。	【開催数】 4回 【入館者数】 板橋史跡公園(仮称) 整備準備 展覧会 4,200 人 紅梅小学校創立 150 周年記念 展 3,033 人 板橋区伝統工芸展 4,695 人 特別展「樺太紀行」 9,510 人
郷土資料館 教育普及事業の実施	地域の歴史・文化への愛着を高めるため、小学生を対象にした区民まつり等の館外イベントへの武者行列参加や、夏休みこども教室の開催、鎧着付け体験、館収蔵の資料を使用した古文書講座等を開催する。	【参加者数】 館外事業参加 11,480 人 博物館講座 71 人 各種講座 2,228 人
ボローニャ・ブックフェア in いたばし	友好都市交流協定を結んでいる北イタリアのボローニャ市で毎年春に行われる「ボローニャ児童図書展」に出展され、板橋区に寄贈された世界各国の絵本を中央図書館(いたばしボローニャ絵本館)で紹介する。	【展示期間】 8月24日～9月7日 ※休館日を除く 【来場者数】 6,630 人

主な事業名	概要	令和6年度実績
史跡の保存・活用に向けた整備	平成29年度に国史跡に指定された「陸軍板橋火薬製造所跡」を、近代化・産業遺産を保存・活用した都内初となる史跡公園として整備する。	・有識者等で構成される史跡整備専門委員会の開催 ・基本設計方針の策定 ・遺構劣化部分の修繕
史跡に関する調査研究・活用	史跡公園の整備に向け、国立公文書館、東京都公文書館、国立国会図書館等で史跡に関する調査研究を実施。調査結果を展示事業等で展開・活用した。	【調査回数】 学芸員による資料調査 90回
史跡の価値を周知・啓発するための展示事業	区民に向け、史跡地の価値の周知と整備に関する理解を得るため、事前展示会シリーズを開催。	【開催期間】 点と点と展 「かかわりなずむ津々浦々と」 1月20日～30日
史跡の価値を周知・啓発するための展示・ラーニングプログラム	いたばし産業見本市において、工都科学研究展のパネルを巡回展示したほか、子ども向けの史跡見学ツアー等のラーニングプログラムを開催。	【開催期間】 パネル展「工都 科学研究展」 11月14日～16日 史跡見学ツアー 「ようこそ、ナゾのケンキュウショへ」 11月16日
デジタルミュージアムの構築	Web環境を利用し、史跡内の遺構・建造物を展示するプラットフォームを構築し、かつ当地に関する資料の活用を可能とするアーカイブ機能を備えたデジタルミュージアムを構築する。 令和7年度以降、設置整備開始・公開予定。	令和7年度事業開始のため実績なし
近代化遺産の日における史跡公園整備地の一般公開	近代化遺産の日（10月20日）に合わせて、現在は施錠されていて入ることのできない史跡地の一般公開を開催。	【開催日】 10月20日 【参加者数】 約700人

3 多文化共生施策・事業について

主な事業名	概要	令和6年度実績
海外姉妹・友好都市等との交流事業	市（区）民が互いに理解し合い、友情を深めることが世界平和の礎になるとの理念のもと、姉妹・友好交流等がある海外5都市等との交流事業を実施。	・バーリントン市姉妹都市提携 35 周年記念イベント実施 ・バーリントン市との公式訪問団の相互派遣 ・ペナン植物園との友好提携に関する共同声明 30 周年記念公式訪問団の派遣
通訳業務	区役所本庁舎及び区民事務所に来庁した際の受話器受け渡しによる電話通訳、受電時・架電時の電話通訳業務を実施。	【通訳件数・分】 380 件、4,505 分
外国籍住民向け情報発信	4 言語（ルビ付き日本語、中国語、英語、韓国語）で区役所の届け出や手続き、日本語教室の案内等をまとめ、スマートフォン等から見ることができるチラシを作成し、転入時にお配りする Welcome パックに同封して配付。	【作成部数】 5,000 部
日本語学習に関する事業 ※板橋区文化・国際交流財団実施事業	日本語を話せない区内在住外国人のために初級日本語教室を開設し、日常生活の利便を図るとともに地域社会で日本人区民とともに住みよいまちづくりを推進することを目的とし実施。	【事業数】 3 事業
多言語による情報提供等に関する事業 ※板橋区文化・国際交流財団実施事業	日本語のわからない区内在住外国人に対して、多言語で、生活、区政、災害等に関する情報提供や生活相談等を行うことで、日常生活や窓口での手続きが円滑に進められ、外国人が安心して暮らせることを目的に実施。	【事業数】 4 事業

主な事業名	概要	令和6年度実績
地域における国際理解の推進に関する事業 ※板橋区文化・国際交流財団実施事業	小中学生などを対象に外国文化を紹介する国際理解教育や外国人に日本文化を紹介する多文化紹介講座などの多文化共生に関する各種イベント等の実施や、多文化共生及び国際交流活動を行っている。ボランティアや関連団体を支援・育成し、その活動の促進を図ることにより、地域において、異なる言語や文化の違いを認め合い、ともに安心して生活できる地域社会を構築することを目的に実施。	【事業数】 6事業
友好都市等交流都市との交流事業 ※板橋区文化・国際交流財団実施事業	海外の友好都市等との交流事業を実施することにより、地域において、異なる言語や文化の違いを認め合い、ともに安心して生活できる地域社会を構築することを目的に実施。	【事業数】 4事業
助成事業（日本語教室・国際交流事業） ※板橋区文化・国際交流財団実施事業	日本語教室事業、国際交流事業の振興を図るため、区内で活動する団体に対し、その活動に対し助成を行う。	【事業数】 1事業
国際交流員通訳・翻訳事業 ※板橋区文化・国際交流財団実施事業	英語と中国語を主たる言語とする非常勤職員各1名や語学ボランティア等により、区内在住外国人が区役所窓口等で円滑に手続きを進められるよう、通訳・翻訳を行う。	【事業数】 1事業
日本語初期学習講座	入国して間もないなどの理由により、日本語での意思疎通が困難な児童・生徒が区立学校に就学するにあたり、学校生活に必要な最低限の日本語の基礎を習得し、学校生活に早く適応できるよう、1講座30時間を基本として日本語を学ぶ講座を実施する。	【受講者数】 93名 【実施言語】 中国語、ネパール語、英語、フランス語、ベトナム語、モンゴル語、ウルドゥー語
各種お知らせ等の翻訳の作成・配布	日本語での意思疎通が困難な児童・生徒の保護者に向けたお知らせの外国語版を作成し配布している。	・日本語学級のお知らせ ・健康診断調査票等 ・就学時健康診断のお知らせ ・就学援助制度のお知らせ

主な事業名	概要	令和6年度実績
ことば支援員	入国間もないなど、日本語が理解できない児童・生徒及びその保護者に対し、授業内や面接時の通訳をする有償ボランティアの「ことば支援員」の登録制度を設けている。	【支援を受けた児童・生徒数】 79人 【活動支援員人数】 延べ59人 【支援時間】 延べ2,998時間
多言語同時通訳・翻訳ツールの導入	増加している日本語が理解できない児童・生徒等に対し、通訳支援充実を図るため、試行的に多言語翻訳ツールを導入することで、すばやく言葉の壁を取り除き、公平で質の高い教育を提供し、人や国の不平等をなくすことにつなげる。 ※コニカミノルタ社が提供するKOTOBALを試行的に導入。	令和7年度事業開始のため実績なし
日本語学級	日本語の習得が不十分なために学校生活や学習に困難を示している児童・生徒が、日本語能力を向上して学校生活に円滑に適応することを目的とし、在籍校から通級による授業を実施している。	【設置校】 小学校 3校 中学校 2校 【利用生徒数】 小学校 104名 中学校 35名
展示「板橋でくらす、まなぶ～多文化特集～」	中央図書館2階インデックスコーナーにて、外国人の図書館の利用促進を図り、多言語世帯への生活・語学支援につなげることを目的に、外国人の暮らしや学びに役立つ資料、多文化共生につながる資料を展示した。	【実施期間】 1月4日～30日